主要施策	健康で郷土を愛する人間性豊かな人材の育成
施策の柱	１　幼児教育の推進
施策の分類	人づくり

■　現状と課題

〇家庭教育と子育て支援

核家族化、少子高齢化が進み、人間関係の希薄化、家庭教育力の低下が懸念されています。

基礎的な体験意欲・体力・コミュニケーション能力を育成するためには、家庭だけではなく、地域ぐるみで子育てを支援する環境を整える必要があります。

町では、小さい頃から絵本に親しんでもらおうと、平成２２年度からブックスタート（※１）事業を展開しており、誕生証書交付式と３歳児健診のときに絵本を贈ることにより、親子が豊かな心を育むための子育て支援や読書活動の推進に取り組んでいます。

また、鶴田町子育て支援センターによる絵本の読み聞かせを行うなど、地域ぐるみでの子育て支援にも取り組んでいます。

〇規則正しい生活習慣の定着

生活スタイルの変化により、朝ごはんの欠食や夜更かしによる睡眠不足の傾向が見受けられます。

基本的な生活習慣を身につけるためには幼児期からの取り組みが重要であり、町では朝ごはん条例の基本方針である早寝、早起き運動の取り組みを推進しています。

また、子どもたちの基本的生活習慣の現状について調査を行うとともに、生活リズム向上に向けた具体的方策について検討し、定着に向け推進しています。

※１　ブックスタート…赤ちゃんとその保護者に絵本などを贈り、絵本を介して親子が心を通わせるきっかけをつくる活動として、１９９２年にイギリスのバーミンガムにおいて取り組みが始まり、近年は日本の各自治体でも事業としての取り組みが広がっています。

■　目指す姿（基本方針）

〇　読書活動の推進を継続的に支援するまちを目指します。

〇　保育所・幼稚園・小中学校が連携し、一貫性・継続性のある教育を推進するまちを目指します。

〇　家庭教育に関する学習機会の提供に努め、家庭の教育力が充実したまちを目指します。

〇　地域ぐるみで子育てを支援する環境の整備に努め、生きる力の基礎となる心情・意欲・態度を培い、体力・コミュニケーション能力が高いまちを目指します。

〇　町民や関係機関が、早寝、早起き運動の推進に取り組むよう一人ひとりの意識の高揚に努め、規則正しい生活習慣が定着したまちを目指します。

■　施策の内容

○　保育所・幼稚園・小中学校が連携し、読書習慣の定着に努めます。また、地域ぐるみでの読み聞かせ活動を積極的に推進するほか、親子が本に親しむ機会が増えるよう継続的な情報提供に努めます。

○　幼児期の発達段階に応じた家庭教育に関わる講座の開設に努めます。

○　親子遊びの広場や子育て相談、育児に関する情報交換ができる子育てグループをネットワーク化し、地域ぐるみで子育てを支援する体制を確立します。

○　保育所・幼稚園へ国際交流員や外国語指導助手を派遣し、コミュニケーション能力の向上を図ります。

○　保育所・幼稚園・小中学校が連携し、規則正しい生活習慣の確立を推進します。

○　乳幼児健診など、保護者が集まる機会を活用した早寝、早起き運動の普及啓発に努めます。

担当：教育委員会・健康保険課・総務課

子育て支援センターの先生方による読み聞かせ